

令和2年度 学校評価報告書 三郷市立戸ヶ崎小学校

評価項目	評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。	3.33	3.75	・教育目標に向け、組織的に取り組んでいる。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.22	3.75	・教科等部会等の話し合いを通して、より良い学校づくりを目指している。 ・部会を計画的に運営できるようにしたい。 ・評価・改善が不十分。 ・高いレベルで達成されている。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.28	3.63	「地域から学び地域で育つ戸ヶ崎小学校」を特色のテーマとして掲げているが、コロナ禍により地域の方になかなか来てもらえない。 ・特色として最も重点化していきたいものを絞って指導したい。 ・いろいろな取組は行っているが、特色と言われると難しい。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。	3.00	3.50	・6年生の総合的な学習の時間の取組でよくやってくれている。 ・4つの礎を急進に置いて、日々の指導にあたっている。 ・具体的な共通理解は不十分。
	5	学校は、教職員の服務規律を確保するための取組をしている。	3.67	3.88	・教頭を中心に、服務についてしっかり取り組んでいる。 ・倫理委員等では具体的な事例を示して考えるなど、教職員の意識を高める取り組みをしている。 ・職員会議でしっかり取り組まれている。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.44	4.00	・英語の研修にみんなで取り組むことができた。 ・研究発表の授業準備に追われ、日頃の指導力向上に向けた研修には至っていない。 ・研修を通し、指導力向上に努めている。
授業等の状況	7	学校は、児童生徒の実態を把握し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.17	3.88	・コロナのため、対話的な学びは消極的になってしまった部分がある。 ・感染対策で授業展開に制限があるが、学年等で工夫できた。 ・校内研修で授業や指導案検討を行うことで、授業改善を目指している。 ・コロナ禍における対話的な学びの具体的手立てを考えている。 ・研修教科(外国語)以外にも取り組むたい。 ・主体的、対話的で深い学びの授業づくりは引き続き努力が必要。
	8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.28	3.75	・子供たちの学力向上のための手立てを考えていきたい。 ・家庭学習の充実に向け、保護者の家庭学習を見届ける意識を喚起したい。 ・日々の授業の充実のため、教材教具を工夫している。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.50	3.75	・授業の心得は子供たちに浸透している。 ・学校によって担任の意識の違いがある。 ・共通理解を図り、指導する際の判断標準としている。 ・細かい部分の確認・共通理解が必要。 ・毎朝全校で授業の心得を唱和することで意識を高め始めている。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。	3.50	4.00	・課題のある児童にも組織的に対応している。 ・学級のすべての児童が集中できるような授業を心がけている。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。	3.39	3.63	・児童にとって読書が身近なものとなるように、毎月月間などの取組を推進している。 ・推進しているが読書時間の確保が難しい。 ・感染対策をしながら、図書館を利用することができた。 ・計画的に図書司書、図書館主任を中心に読書活動の推進を行っている。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。	3.22	3.63	・学校図書館担当と司書が協力してよく頑張ってくれている。 ・学年ごとの読書目標を定めて、児童にも目標を持たせて取り組んでいる。 ・読書好きな児童が多い。
	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.17	3.63	・食育指導も定期的にできている。 ・栄養士の食育指導が、日々の食事の大切さを考えるよい機会になっている。 ・栄養士を身近に感じられるような取組、ふれあいをしたい。 ・学級活動や授業で意識を高めている。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。	3.44	3.63	・朝ダッシュや外遊びを推奨し、よく取り組んでいる。 ・体育授業の基本的な進め方について共通理解が必要。 ・朝ダッシュで体力向上に努めている。 ・制限があったが体育行事にもよく取り組んでいた。
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.11	3.50	・学級の児童の実態を踏まえ、道徳の授業を行っている。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.22	3.50	・学校としての共通理解を図り取り組んでいる。
	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.33	3.75	・生徒指導・教育相談全体で共通理解を図っているが、教員の個人差が大きい。教職員研修等を通して、資質向上を図っていく必要がある。 ・宣誓など気になるところもある。出したら片付けるなど共通理解を図りたい。 ・児童の言葉遣いが間違っていたらその場で言い直させるなど指導がしっかりできている。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。	3.39	3.88	・あいさつはできることできない子の差が大きい。差をなくしていきたい。 ・あいさつ運動などの取組により、進んであいさつできるように指導している。 ・次年度は高学年を中心に、さらに向上させていきたい。 ・日々の活動の中で啓蒙し、指導している。
19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.39	3.63	・日常的に指導を重ねている。	
生徒指導・管理の状況	20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.67	3.75	・問題行動に対して、みんなで取り組んでいこうという姿勢が感じられる。 ・共通理解を図り、組織的に対応している。 ・管理職、担任外の先生のサポートに助けられている。 ・校長の指導のもと、教頭が中心となって、複数の教員で指導にあたっている。
	21	学校は、保護者(必要に応じて関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.50	3.75	・保護者との連携が密になるよう、必要に応じて連絡をとっている。
	22	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合う指導をしている。	3.44	3.63	・児童たちの充実した学校生活のため、共通理解を図って取り組んでいる。
	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.44	3.75	・どんなトラブルにも誠意をもって迅速な対応ができるように心がけている。
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	3.56	3.63	・古い学校なので、施設について気を付けて見ていきたい。 ・定期的に安全点検をしている。 ・第2校舎の不審者侵入対策と非常階段の整備を早急にしたい。
	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。	3.28	3.75	・学校の古さを感じさせない工夫をしている。 ・清掃活動、掲示教育の充実を目指し、計画的・組織的に取り組んでいる。 ・掲示板の活用を工夫したい。
家庭地域との連携	26	学校は、教職員が児童生徒と向き合うため、働き方改革を進めている。	3.17	3.75	・無理のない範囲で進めている。 ・業務の改善と効率化を図り、充実して働けるように改革を進めている。 ・改革はなかなか難しい。 ・学校としての取組がよくわからない。
	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。	3.56	4.00	・HP更新がよくできている。 ・HPを適宜更新し、情報の発信を行っている。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。	3.28	3.75	・減っているが、今年度はコロナ禍で仕方ない部分もある。 ・感染症対策を講じながら、可能な範囲で活用を図っている。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	3.39	4.00	・感染症対策を講じながら、計画している。 ・コロナ禍のため難しい。